

令和7年3月5日  
10:00～11:00  
ランチルーム

1 学校評価・評価書について

2 令和7年度学校経営計画について

3 その他

- ・令和7年度行事予定
- ・卒業式・入学式について
- ・令和7年度学校運営協議会予定

第1回	第2回	第3回	第4回	第5回
4月23日(水)	7月22日(火)	11月8日(土)	R8.1月27日(火)	R8.3月3日(火)
14:00	14:00	10:00	14:00	14:00
ランチルーム	ランチルーム	ランチルーム	ランチルーム	ランチルーム

問合せ先(事務局)

朝霞市栄町5-1-41

朝霞第八小学校教頭 川村 照美  
越後 広栄

電話番号 048-472-9172

メールアドレス [a8shou\\_k2@asaka-s.ed.jp](mailto:a8shou_k2@asaka-s.ed.jp)

「自己評価」(市内共通項目)評価書

朝霞第(八小)学校 氏名(田中 誠)

柱	No	評価項目	評価				改善策として考えられること
			A	B	C	D	
学校の組織運営	1	学校は、学校教育目標達成に向けて、全教職員で組織的に取り組んでいる。		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>学校教育目標の実現に向けて、分掌主任、学年主任を中心に組織的な教育活動を実施していく。</li> <li>それぞれの学年の様子を共有できていない面があるため、職員集会や職員会議で周知する時間を設け、協力できるところは学校全体で協力し合う体制を構築する。</li> </ul>
	2	学校は、安全・安心に配慮し、危機管理体制を整えている。 (※いじめの未然防止と早期発見、再発防止等の組織的な対応を含む)		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>施設設備は日常的な点検と定期点検を徹底して、事故を未然に防止する。</li> <li>生徒指導の諸問題は月1回の生徒指導部会で状況や経過等を確認し、共通理解・共通行動で適切に対応する。</li> <li>不審者対応について、来年度はまずは教職員の研修を警察署の協力を得て行い、安全・安心な学校作りの第一歩とする。</li> </ul>
基礎学力の定着	3	児童生徒は、教職員の指導により、基礎学力を身に付けている。		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>低学年の学習内容を着実に定着させ、中・高学年ではこれまでの学習との関連性を実感できる授業づくりを行う。</li> <li>毎時間の授業で明確なめあて・課題をもたせた授業を行うことで、すべての児童に基礎学力を定着させる。</li> <li>授業におけるタブレット端末の活用の充実だけでなく、放課後や長期休業等でも児童がタブレット使用のルールを守って効果的に活用できるように指導していく。</li> </ul>
	4	学校は、学力向上をめざし、児童生徒の実態に基づいて授業改善に努めている。		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>3年生以上については、教科担任制を拡大し、専門的な指導、学年統一した指導を徹底することで学力向上を目指す。</li> <li>タブレットを用いたすららドリルの活用を学校だけでなく家庭とも連携して取り組むことで児童の学力定着を図る。</li> </ul>
規律ある態度の育成	5	児童生徒は、生活のルールに基づき、発達段階に応じた「規律ある態度」を身に付けている。		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>学習規律の確立を目指し、低学年補助教員や児童生徒支援員、スクールサポーターの支援を受けながら特に低学年段階で着実に身に付けさせていく。</li> <li>学校ち家庭が共通認識を図り、その場所でのルールを守ることやルールに準じた指導を素直に受け止める態度を育てていく。</li> </ul>
	6	学校は、児童生徒の実態把握に基づき、規律ある態度の指導の工夫・改善に努めている。		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月の全校朝会で、生徒指導部教員が生活目標を確認して指導を行う。</li> <li>名札着用や廊下歩行、挨拶、校帽の着用等で教職員が足並みを揃えた指導を行うことで改善していく。</li> <li>月末に全児童が生活目標の振り返りを行うことで、改善点を見出し、指導につなげていく。</li> </ul>
健康・体力向上	7	児童生徒は、体育の授業や運動部活動、外遊び等の運動に意欲的に取り組んでいる。		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>体育的行事や体育朝会、朝運動を工夫して、運動好きの児童を増やす。</li> <li>業間休みや昼休みでの外遊びを積極的に奨励する。</li> <li>忙しい高学年児童が体を動かす時間を確保していく。</li> </ul>
	8	学校は、児童生徒の体力を高めるため、意図的に向上策を講じている。		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>体育部が中心となって体育授業での運動量確保や新体カテストにおける課題のある項目を伸ばすための動きや運動を計画的に取り入れる。</li> <li>鉄棒教室や跳び箱教室をこれまでどおり、行うことで基礎的な技能を児童に習得させる。</li> <li>校内に体力向上ブースを作ったり、年間をとおしての体育的活動に学校全体として取り組んでいく。</li> </ul>
連携	9	学校は、保護者や地域と連携し、その教育力を学力や体力の向上に生かしている。		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>朝霞市社会福祉協議会や朝霞市博物館による出前授業、朝霞市浄水場や消防署をはじめとした市内関係機関とも連携して体験的な学習の充実を図る。</li> <li>学校応援団八枚、地域の方、保護者と先生の会、103の会等との連携をこれまで以上に密にし、教育活動に積極的に関わっていただく機会を設定する。</li> </ul>
	10	保護者や地域は、学校と協力し合い、児童生徒の安全指導・健全育成を推進している。		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者と先生の会地区担当との連携で、校区内の安全指導や通学路点検を継続する。</li> <li>各学期当初数日間は、教職員も保護者とともに通学路に立って安全指導を実施する。</li> </ul>

(注)

○それぞれの質問に対し、児童生徒、保護者や地域、学校全般を振り返り総合的に評価。

A:よくあてはまる B:ほぼあてはまる C:あまりあてはまらない D:あてはまらない

令和7年2月3日

朝霞市立朝霞第八小学校  
第6学年保護者様

朝霞市立朝霞第八小学校長  
田中 誠

再掲

令和6年度第49回

卒業証書授与式について

向春の候、保護者の皆様にはますます御清祥のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校教育活動にご理解・ご協力をいただきましてありがとうございます。

さて、月日が経つのは早いもので、お子さまの入学の日から6か年が経ち、ここに小学校の全課程を修了し卒業の日を迎えられますことを心よりお祝い申し上げます。

つきましては、第49回卒業証書授与式を下記のとおり挙行いたしますので、保護者の皆様にご出席いただきたく御案内申し上げます。

記

1 日時 令和7年3月24日（月）

2 式場 本校 体育館

3 日程

(1) 受付 午前 8時55分～午前 9時10分【本校体育館】

(2) 卒業生入場 午前 9時17分～

(3) 卒業証書授与式 午前 9時25分～午前10時50分

(4) 学級活動 午前10時55分～午前11時15分

(5) 卒業生見送り 午前11時15分～

※多少、時間の変更が生じる場合があります。

※卒業生の登校時間は8：00～8：15となります。

4 その他 (1) 恐縮ではございますが、上履き・上履き入れをご持参ください。

(2) 乳幼児同伴のご出席並びに自動車でのご来校は御遠慮ください。

(3) フラッシュを使用するの写真撮影はおやめ願います。

(4) 駐輪場は正門横からフェンス沿いとなります。朝霞第四中学校と本校の間の道路及び学校敷地内は御遠慮ください。

(5) 卒業式の立看板は、校庭に3か所設置します。記念撮影等を行う場合は、撮影者同士で譲り合って撮影してください。

(6) 会場の都合上、保護者の参列は1家庭2名まででお願いします。

学校運営協議会委員の皆様は、  
8時55分～9時10分の間に図書室へお越しください。

令和 7年 1月30日

新入学児童保護者 様

再掲

朝霞市立朝霞第八小学校  
校長 田中 誠

## 令和7年度 入学式のご案内

厳寒の候、保護者の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、令和7年度入学式を下記により開催いたします。

つきましては、保護者ご同伴にてご出席いただきますよう、ご案内申し上げます。

### 記

- 期 日 令和7年 4月9日 (水)
- 式 場 朝霞市立朝霞第八小学校 体育館  
※受付 1階 児童玄関付近の予定
- 日 程 (1) 受 付 13:15～13:45  
(2) 入学式 13:50～14:20  
(3) 学級開き・写真撮影 14:40～15:40
- 児童の持ち物 上履き 上履き入れ ハンカチ ティッシュ ランドセル (教科書等を配付します。筆箱等は不用です。)  
※上履きは下駄箱に置いてお帰りください。
- その他
  - 保護者の方も上履きとくつ袋を御持参ください。また、筆記用具もお願いします。
  - 保護者の参加は、児童1名につき2名までとさせていただきます。(原則、保護者以外は出席できませんが、どうしても乳幼児を預けられない場合のみ、参加可とします。在校生の参列はできません。)
  - 「学級開き」の参観は、児童1名につき1名の保護者とさせていただきます。
  - 急病等により入学式を欠席される場合は、必ず御連絡ください。  
(朝霞第八小学校 TEL: 048-465-8381 担当: 教頭)
  - 保護者用駐車場・駐輪場はありません。徒歩で来校してください。
  - 当日、13時過ぎより正門及び南門において名簿を配付します。お子様の学級を確認し、受付をお願いいたします。
  - お子様・保護者様が体調不良の場合には、無理をせず、欠席してください。その際は、できれば前日までに学校へご連絡ください。
  - 写真やビデオ撮影は個人の利用に限り可とします。(SNSや動画サイト等へのアップロードは厳禁といたします。) また、撮影の際は立ち上がりずに着座で、立見もご遠慮ください。

学校運営協議会委員の皆様は、  
13時25分～13時40分の間に図書室へお越しください。

令和6年度 朝霞市立朝霞第八小学校 学校評価 集計まとめ												*A+Bの数値 下の( )内の数字は前年度比 ○上昇 ▼減少			
柱	No	保護者		児童		児童		職員		職員		学校関係者評価		学校関係者	
		平均	A+B(%)	平均	A+B(%)	平均	A+B(%)	平均	A+B(%)	平均	A+B(%)	平均	A+B(%)		
組織運営 学校の	1	3.37 B	89 (○1)	3.55 A	96	3.19 B	100 (○7)	3.43 A	85.7	学校は、学校教育目標達成に向けて、全教職員で組織的に取り組んでいる。	3.43 A	85.7	学校は、学校教育目標達成に向けて、全教職員で組織的に取り組んでいる。	3.43 A	85.7
	2	2.94 B	74 (○1)	3.7 A	97	3.19 B	100 (○2)	3.43 A	100	学校は、安全・安心に配慮し、危機管理体制を整えている。 (※いじめの未然防止と早期発見、再発防止等の組織的な対応を含む)	3.43 A	100	学校は、安全・安心に配慮し、危機管理体制を整えている。 (※いじめの未然防止と早期発見、再発防止等の組織的な対応を含む)	3.43 A	100
基礎学力 の定着	3	3.2 B	83 (▼3)	3.54 A	94	3.26 B	97 (▼3)	3.29 B	100	全児童は、教職員の指導により、基礎学力を身に付けている。	3.29 B	100	全児童は、教職員の指導により、基礎学力を身に付けている。	3.29 B	100
	4	3.06 B	73 (▼6)	3.24 B	80	3.33 B	100 (○2)	3.29 B	85.7	学校は、学力向上をめざし、児童の実態に基づいて授業改善に努めている。	3.29 B	85.7	学校は、学力向上をめざし、児童の実態に基づいて授業改善に努めている。	3.29 B	85.7
規律ある 態度の育成	5	3.28 B	86 (▼4)	3.57 A	96	3.06 B	94 (▼2)	3.29 B	85.7	児童は、生活のルールに基づき、発達段階に応じた「規律ある態度」を身に付けている。	3.29 B	85.7	児童は、生活のルールに基づき、発達段階に応じた「規律ある態度」を身に付けている。	3.29 B	85.7
	6	3.21 B	80 (-)			3.19 B	97 (▼3)	3.29 B	100	学校は、児童生徒の実態把握に基づき、規律ある態度の指導の工夫・改善に努めている。	3.29 B	100	学校は、児童生徒の実態把握に基づき、規律ある態度の指導の工夫・改善に努めている。	3.29 B	100
健康・ 体力向上	7	3.25 B	82 (▼1)	3.34 B	84	3.19 B	94 (▼4)	3.43 A	100	児童は、体育の授業や運動部活動、外遊び等の運動に意欲的に取り組んでいる。	3.43 A	100	児童は、体育の授業や運動部活動、外遊び等の運動に意欲的に取り組んでいる。	3.43 A	100
	8	2.97 B	67 (▼13)			3.03 B	90 (▼6)	3.43 A	100	学校は、児童の体力を高めるため、意図的に向上策を講じている。	3.43 A	100	学校は、児童の体力を高めるため、意図的に向上策を講じている。	3.43 A	100
連携	9	3.43 A	97 (○10)	3.62 A	95	3.19 B	97 (▼3)	3.43 A	100	学校は、保護者や地域と連携し、その教育力を学力や体力の向上に生かしている。	3.43 A	100	学校は、保護者や地域と連携し、その教育力を学力や体力の向上に生かしている。	3.43 A	100
	10	3.36 B	91 (○7)			3.19 B	97 (▼1)	2.86 B	71.4	保護者や地域は、学校と協力し合い、児童生徒の安全指導・健全育成を推進している。	2.86 B	71.4	保護者や地域は、学校と協力し合い、児童生徒の安全指導・健全育成を推進している。	2.86 B	71.4
成果(○)と課題(▲)	○今年度は「学校の組織運営に関する設問」・「連携」の2つの柱において、A+Bの合計が昨年度より高評価をいただいた。特に保護者・地域との連携については90%以上ということ、満足できる結果であるとする。 ▲安心・安全な学校経営については、昨年度比ではプラスとなったが、まだ平均評価ではCという状況であり、次年度への課題として引き継いでいく。また、健康・体力の向上については、昨年度比10%以上下がった項目もあり、大いに課題が残った。次年度に向けて研修領域も体育・体力向上をメインテーマに据えて、児童の体力向上・技能向上・体育好きな児童の育成に全職員で取り組んでいく。		○自己評価が高く、自己肯定感の高まりが高評価につながっていると考えられる。特に、設問1、2、3、5、7は3.5以上の極めて高い評価となっており、児童自身ががんばった、よく取り組んだと思える1年であった。 ▲設問4、6の結果が他の設問に比べてかなり低い結果となった。粘り強く最後まで学習に取り組む姿勢については、授業でも個別指導を充実させること、児童が見通しをもって学習できるめあて・課題の設定を工夫することを徹底させていきたい。また、運動面については、大縄大会をはじめとしたイベントも効果的に取り入れ、児童が年間を通して運動に親しむ素地を育てていきたい。		○学校の組織・運営については全員が概ね評価できるという結果になった。ただし、安全面については保護者評価で多数ご指摘いただいている点があるため、来年度に向けてご意見を真摯に受け止め、改善していかなければならない。また、学習指導においても高評価となった。学校での取組をより保護者へ発信していく取組を充実させ、保護者評価にもつなげていきたい。 ▲10項目中7項目の数値が低下した。その中で、〈設問8〉体力向上については、校内研修でも体育授業について研究を推進してきたが、体力向上にもつなげられるよう来年度さらに研修を深めていかなければならない。		○健康・体力の向上では、A+Bの評価100%ということが高い評価をいただいた。ただし、保護者評価や自己評価では厳しいご意見をいただいた項目なので、校内研修をとおして児童の体力向上・運動技能向上に職員一丸となって取り組まなければならない。他の項目でも10項目中5項目でA評価をいただいたが、項目によっては、C評価もあり、いただいたご意見については、真摯に受け止め、改善につなげていかなければならない。 ▲設問10については、保護者の協力をこれまで以上に学校教育に活かしていけるよう、積極的に校外学習における見守り活動やその他児童支援について協力体制を構築していかなければならない。								
調査方法等	全保護者対象 11月1日～11日実施 記名式 467名			児童対象 11月15日～20日実施 記名式 1056名			職員会議参加全職員対象 11月20日～12月8日実施 記名式 31名			学校運営協議会委員対象 12月1日～2月11日実施 記名式 7名					
	A・・・4点 B・・・3点 C・・・2点 D・・・1点でカウント Eはカウントなし			評価A・・・3.4以上 評価B・・・2.6以上 評価C・・・2.0以上 評価D・・・2.0未満											

※青字は仮予定

Calendar table with columns for months from April (15,16) to March (18,16). Rows list events such as school holidays, sports events, and academic activities. Includes a small calendar for the bottom right corner.

# 令和7年度朝霞市立朝霞第八小学校 学校経営方針

朝霞市立朝霞第八小学校  
校長 田中 誠

## 1 学校教育目標

人間尊重の精神を基調とし、知・徳・体の調和のとれた、健康で人間性豊かな子供の育成を目指す。

学校教育目標は、学校が組織として目指す教育方針の根幹である。この学校教育目標には、本校の歴史や伝統、これまで先輩方が築いてくださった成果が反映されているとともに、現在の児童の実態や保護者・地域住民の願い、社会の変化への対応等を踏まえて設定をした。（不易と流行）

## 2 目指す学校像

教育は子供の未来づくり ～児童に未来を生き抜く力の基礎を育てる学校～

- |                |                       |
|----------------|-----------------------|
| (1) 子供が主役である学校 | 子供が生き生きしている学校を目指して    |
| (2) 信頼される学校    | 保護者から 地域から 何より子供から    |
| (3) 地域の中に生きる学校 | 学校に関わってくれる地域 地域に関わる学校 |

学習指導要領では、学校で学んだことが児童の「生きる力」となり、児童の今後の人生に繋がって欲しいという願いが込められている。児童は、今後、変化が激しく予測困難な社会において生きていくことになる。しかし、変化に対応することのできる力の基礎を現時点で育てることにより、変化の激しい社会においても、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、判断し、行動することができる。このことにより、児童が将来、それぞれに思い描く幸せを実現してもらいたいと考えて目指す学校像を設定した。

## 3 目指す児童像

- かしこく
  - ・よく聴き、よく考え、自分の言葉で表現できる子供
  - ・自分で判断し、行動する子供
  - ・友達と協力、協働し合い、考えを深められる子供 ※1
- やさしく
  - ・自分や友達を大切にし、仲良く協力し合える子供
  - ・元気にあいさつや返事ができ、ふれあいを大切にする子供
- たくましく
  - ・困難にくじけず、自ら進んでねばり強く頑張ろうとする子供 ※2
  - ・めあてを持って、進んで運動に取り組む子供
  - ・健康や安全に気を付けて生活する子供

※1 学校での ICT 活用が浸透する中で、児童生徒 1 人ひとりが自分のペースで学べる個別最適な学びの充実と、他者とともに多様な意見を共有しつつ合意形成を図る協働的な学びの両方を重視することが求められていることから、協働的な学びという視点で付け加えた。

※2 「最後まで頑張ろうとする子供」から表現を変更。

#### 4 目指す教師像

- (1) 児童一人一人の意欲や可能性を引き出して伸ばす教師
- (2) 豊かな人間性を持ち、児童一人一人の心に寄り添う教師
- (3) 自らの心身の健康に留意をし、職務に全力を尽くす教師
- (4) 絶えず研修に努め、児童や保護者から信頼される教師

教師は、児童にとって最大の教育環境である。児童は、教師の後ろ姿を見て育つものである。教師の日々の具体的な言動が児童に与える影響は計り知れない。学校教育目標 及び目指す児童像に示された児童を育成するためにはどのような教師が求められるのかということを考えて目指す教師像を設定した。

#### 5 学校経営方針

- (1) 全教職員の創意と知恵を活かしながら、学校教育目標の具現化を図る。
- (2) 教育活動全体を通じて、児童理解に立脚した児童第一主義の教育を実践する。
- (3) 児童一人一人が自分のよさに気づき、他者と認め合える教育活動を展開する。
- (4) 児童が夢を持ち、その実現に向けて努力ができるよう、教育環境を整備する。
- (5) 家庭や地域と連携を深め、地域に根ざした信頼される学校づくりに努める。

#### 6 本年度の重点目標

##### (1) 確かな学力の向上

- ・ 学ぶために必要な5つの力を育成する。
  - ①他人の話を聴く力 ②集中して学習する力
  - ③なぜ・どうしてと疑問をもつ力 ④丁寧に学習する力
  - ⑤わからないことを聞く・調べる力
- ・ 子どもとともにつくる学習課題、まとめ・ふりかえりを子どもの言葉で書かせる授業づくりを日常とする。
- ・ 協働的な学びでは、子ども同士や大人も含めた他者との話し合いを充実させる。
- ・ 一人一台の ICT 端末を活用し、個別最適な学びを充実させる。  
→個に応じた指導、問題解決的な学習・学び合い学習による授業展開等
- ・ 指導目標を明確にした分かる授業を実施する。
- ・ オンラインドリル等の活用により基礎的・基本的事項を確実に定着させる。
- ・ ICT機器の効果的な活用と情報モラル教育を推進する。

##### (2) 豊かな心の育成

- ・ 道徳教育の授業を充実させることで、児童の道徳的実践力を養う。
- ・ 育みたい力を踏まえ、異学年との交流や縦割り活動を充実させる。
- ・ 児童の主体性を発揮させる自治的な活動を充実させる。
- ・ 気持ちのよい、さわやかなあいさつができるよう指導する。
- ・ 読書活動及び読み聞かせを実施する。
- ・ 全教育活動を通じて体験活動を充実させる。

##### (3) 健やかな体の育成

- ・ 運動量を確保し、運動の楽しさを味わわせる体育授業を展開する。
- ・ 新体力テストの結果を踏まえ、**実態に応じた補強運動を実施する。**
- ・ 外遊びや体育行事に合わせた運動等を推奨し、運動の日常化に努める。
- ・ 自らの健康に関心を持ち、健康増進に励む食育を推進する。

(養護・栄養教諭と連携)



- (4) 安全・安心な学校づくりの推進
- ・安全点検の着実な実施と、迅速な対応を行う。
  - ・避難訓練を実施し、児童の「自分の身を自分で守る」という防災意識を高める。
  - ・児童引き渡しとなった際の、第四中学校との連携の在り方について検討する。
  - ・廊下歩行や「外遊びのルール」を徹底する。
  - ・健康状況調査等による個に応じた配慮事項の対応を徹底する。
- (5) 生徒指導・教育相談の充実
- ・いじめの未然防止、早期発見及び解消率 100%に向け組織的に対応する。
  - ・生活目標を効果的に活用し積極的な生徒指導を実施する。
  - ・不登校の早期発見、早期支援に努め必要に応じて、関係機関との連携を図る。
  - ・校内の相談体制を充実させ、スクールカウンセラー等との連携のもと、保護者、児童の支援にあたる。
  - ・特別な支援や配慮を要する児童の状況を把握するとともに校内支援体制を充実させる。
  - ・個別の支援計画に基づく個に応じたきめ細やかな指導を実践する。
- (6) 特色ある学校づくりの推進
- ・コミュニティスクールとして学校運営協議会と連携した学校経営を推進する。
  - ・学校応援コーディネーターを中心にした学校応援団活動を充実させ、地域人材を活用した授業実践を推進する。
  - ・学校ファームにおける体験活動を充実させる。
  - ・保護者や地域の方の協力を得て、登下校時の見守り活動を充実させる。
  - ・朝霞第四中学校との教育活動連携を推進し、相互交流を深める。
  - ・地域施設を活用した教育活動を充実させる。
  - ・学校公開、ホームページ、Tetoru 等による教育活動等の情報発信を推進する。
  - ・学校評価により教育活動の改善を図る。
- (7) 研究・研修の推進（人材育成）
- ・教職員の学校運営への参画意識を向上させる。
  - ・経験年数やライフステージに応じた研修への意欲的な参加を推進する。
  - ・学校課題の解決を図り、教職員相互の理解を深める校内研修を推進する。
  - ・自らの資質や能力、指導力、人間性の向上を図る自己研修を推進する。
  - ・総合型校務支援システム導入に伴いその活用力を習得する。
  - ・教職員倫理確立委員会や事故防止年間計画に基づいた活動を充実させ、教職員事故の根絶を図る。
- (8) 働き方改革の推進
- ・校務支援システムの活用による業務の効率化を図る。
  - ・タイムマネジメントの視点で校務を見直し、教職員の意識改革を図る。  
⇒費用対効果の視点での業務の見直し  
⇒勤務時間の自己管理の徹底  
(超過勤務月 4 5 時間未満、年間 3 6 0 時間未満)
  - ・会議の精選や提案方法の工夫等により、回数削減、時間短縮を行う。
  - ・計画的な年休取得を促進するとともに、月 1 回のふれあいデーを確実に実施する。